

2021年10月11日

本会議質疑

◆第90号議案

市民派クラブの中西智子です。

第90号議案 物件供給契約締結の件（箕面市図書館システム機器更新に係る IC タグ機器）について、簡潔に質疑を行います。

この契約は、箕面市立図書館に導入されている IC 機器の更新によるものです。今回システム機器を更新する図書館・図書コーナーは、中央、西南、桜ヶ丘、小野原、らいとぴあ21の5か所分であると聞いています。

1点目に、本契約の内訳について伺います。契約金額は、消費税込みで2,530万円です。今回、システム機器更新に係る IC タグ機器とは、具体的にどのようなものでしょうか。また品目と数量、単価等についても説明を求めます。

さらに保証期間と、保守契約が含まれているのか否かについても説明をお願いいたします。

〈答弁〉

答弁者副教育長

ただいまの中西議員さんのご質疑に対しまして、ご答弁いたします。

1点目の「物件契約の内容」についてですが、今回調達する IC タグ機器とは、図書に貼り付けている IC タグから貸出返却情報を読み取るための「IC リーダライター」、及び不正持ち出し防止用の「IC セキュリティゲート」で構成されています。

次に、品目と数量、単価については、まず、IC リーダライターにかかるものとして、自動貸出機用を11台、自動返却機用を5台、業務端末用を25台更新します。IC セキュリティゲートについては、西南図書館、小野原図書館、らいとぴあ21の図書コーナーで使用する幅の広い出入口用を3台、その他の図書館の出入口や予約コーナーに使用するものを6台更新しており、総額2,530万円です。なお、それぞれの単価については、総額で入札するものですので、不明です。

次に、保証期間と保守契約については、調達可能な IC タグ機器がいずれも海外製品であるため保証期間はありますが、稼働を開始する来年度以降は別途保守契約を行う予定です。

2点目に、予定価格と落札率等について伺います。

2011年に新たに整備する際には、設計金額の算定に当たっては、3者から見積もりを徴取し、その内容を確認・精査するとともに、他市での納入事例も参考にしながら仕様書を作成し、設計金額を設計されたと同っております。今回、設計金額を算定する際におこなった見積もりの徴取件数や精査の方法などを教えてください。また、2011年度の落札率は48%でしたが、この度の応札に向けた質問・問い合わせをおこなった事業所数をはじめ、予定価格、及び入札状況や落札率はいかがだったでしょうか。前年度(2020年度)には、船場図書館と東図書館のシステム機器更新が行われましたが、このときの落札業者も今回と同様の京セラコミュニケーションシステム株式会社であり、応札したのはこの1社でした。2020年度の入札状況とこの度のとの比較検証等についての説明を求めます。

〈答弁〉

2点目の「予定価格と落札率等」についてですが、まず、設計金額を算定する際にあたっては、既存の図書館システムと連携して動作できること、既存貸出機・返却機の枠内に設置できる機の調達が可能な事業者2社から見積徴収しております。また、事業者から徴収したものの他に、同等機器の価格の比較を行うことで金額の精査を行っております。

次に、問い合わせのあった事業所数については、今回の入札にあたっての質疑の提出はありませんでした。

次に、予定価格については、設計金額に基づき2,531万1千円に設定しました。次に、入札状況や落札率については、応札業者は1社で、1回目の入札は予定価格を上回ったため、2回目の入札を行い、落札価格は2,530万円で、落札率は99.9%となっております。

次に、昨年度の入札状況と今回の比較については、まず、入札状況は、昨年度実施した船場図書館と東図書館のICタグ機器の入札において、応札業者は1社で、入

札予定価格 1,465 万 7500 円に対して、落札価格は 1,430 万円で、落札率は 97.6% となっています。

次に、昨年度と本年度の比較検証については、まず、昨年度の東図書館及び船場図書館にかかる IC タグ機器入札における「購入内訳と設計単価」ですが、まず IC リーダライタですが、自動貸出機用が 6 台で、1 台当たり単価 23 万円、自動返却機用が 2 台で、1 台当たり単価 79 万円、業務端末機用が 10 台で、1 台当たり単価 23 万円です。

次に、IC セキュリティゲートですが、幅の広い出入り口用のものが 2 台で、1 台当たり単価 240 万円、予約コーナー用のものが 2 台で、1 台当たり単価 170 万円です。

次に、本年度の設計単価は、IC リーダライタですが、自動貸出機用が 1 台当たり単価 23 万円、自動返却機用が 1 台当たり単価 79 万円、業務端末機用が 1 台当たり単価 23 万円で、IC セキュリティゲートですが、西南図書館、小野原図書館、らいとぴあ 21 の図書コーナーで使用する幅の広い出入り口用のものが 1 台当たり単価 145 万円、その他の図書館の出入口や予約コーナーに使用するものが 1 台当たり単価 115 万円です。

昨年度と本年度とで IC セキュリティゲートの設計単価が異なりますが、これは昨年度の契約においては、IC タグ機器に加えて、ソフトウェアも備品購入費の一部に含まれたかたちで積算していたためです。

本年度の契約では、昨年度の調達にかかる事業者との打ち合わせの中で、ソフトウェアはインストール作業が伴うことが判明したことにより予算科目を委託料としたため、IC タグ機器のみの購入となり、設計単価そのものは下がっています。

なお、ソフトウェアについては、今後入札を実施しますが、予算段階で 75 万円となっており、ただいまご説明をした内容を踏まえて、仮に、設計金額ベースで、今回の IC タグ機器導入について、昨年度との比較検証を行うとすると同額となるところです。

以上でございます。